

授業計画書 (シラバス)

| | | | | | |
|-----|------------------|----------|-------------------|------|-------|
| 教科名 | プロフェッショナルアート演習 I | 曜日 時間 | 不定期 9:10-15:50 | 担当者名 | 宮永 愛子 |
|-----|------------------|----------|-------------------|------|-------|

| | | 前期指導演 | | 後期指導演 | |
|----------------|--|-------|--|---------------|--|
| 年間授業日 (4回) | 4月 | 23 | | 10月 | |
| | 5月 | | | 11月 | |
| | 6月 | | | 12月 | |
| | 7月 | | | 1月 | |
| | 9月 | | | 2月 | |
| 方授 法業 | (講義) ・ 実技) | | | (講義) ・ 実技) | |
| 授業内容 | この授業ではガラスの技術習得ではなく、作品制作に繋がる思考の探求をしたいと考えています。思考の仕方は人それぞれだと思いますが、どのような視点を持つとどんなふうに作品に広がりをもてるか、その可能性をみんなで学んでいきたいです。一回の授業で完結する場合と、連続して考察してもらおう場合があると思います。この訓練を通して、作家として活動するときのベースになるような力がつけられるよう、前期から後期と一年を通して時間をつないでゆきます。 | | | | |
| 到達目標 | この授業では、思考の探求が目標であるためプレゼンや発表を重視します。 | | | | |
| 成績 基準 評価 | 成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／課題の完成度／提出期限の厳守／授業の目標水準の到達／個人の成長度／出席状況など | | | | |
| 留意事項 | それぞれ今まで制作してきた思考を個別にも伺います。(自分自身が生み出す作品について向き合う機会になると思います。)今までの作品が紹介できるように資料は持っていてほしいです。 | | | | |